

# 良品計画グループ<sup>®</sup>

## 責任ある原材料調達指針

バージョン： 1.0

発効日： 2025 年 12 月

管理者： ESG 経営推進部門

### 目次

<b>1. 基本方針</b> .....	<b>2</b>
1 - 1 人権の尊重 .....	2
1 - 2 環境負荷の低減 .....	2
1 - 3 動物福祉の配慮 .....	2
<b>2. 適用範囲</b> .....	<b>3</b>
<b>3. 行動指針</b> .....	<b>3</b>
3 - 1 原材料の責任ある調達 .....	3
3 - 2 ステークホルダーエンゲージメント .....	3
3 - 3 適切な情報開示と透明性の確保 .....	3
<b>4. サプライヤーの責任</b> .....	<b>3</b>

## 1. 基本方針

良品計画グループは、製品に使用する原材料の多くを天然資源に依存しています。天然資源の持続不可能な利用や森林破壊、土地の転換は、生物多様性の損失や気候変動を助長します。また、天然資源の需要は世界的に増加しており、生態系に影響するだけでなく、人々の生活や健康にも影響しています。

世界中の様々な天然資源を使用している私たちにとって、持続可能な原材料の調達は重要な課題であり、責任であると認識しています。そのため、私たちは人権を尊重し、環境および動物への悪影響を最小限に抑える方法で責任ある原材料の調達を行います。

### 1-1 人権の尊重

良品計画グループは、「良品計画 人権方針」を制定し、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」をはじめとする人権尊重に関する国際規範を支持し、これに準拠して、すべての人々の人権を尊重する責任を果たすことに努めています。人権侵害のリスクはサプライチェーンの上流に遡るほど高まることを認識しており、責任ある原材料調達の取り組みは非常に重要です。原材料調達では、特に以下の課題に優先的に取り組んでいます。

- ・ 強制労働および児童労働
- ・ 労働者および地域社会の労働環境と健康（農薬使用による土壌や水質汚染を含む）
- ・ 土地の権利

これは、他の人権課題を軽視するものではなく、まずは上記の課題に重点的に取り組んでいることを示すものです。良品計画グループは、人権の負の影響を防止、軽減、是正するための適切なデュー・ディリジェンス・プロセスを構築し、責任ある原材料の調達に努めています。

### 1-2 環境負荷の低減

良品計画グループは、「良品計画グループ 環境方針」を制定し、「持続可能な原材料調達」を重要課題の一つとしています。生物多様性や森林の保全を考慮し、使用する天然資源が責任ある方法で調達されたものであるかを確認することに努めています。また、生産者と協働して持続可能な慣行の推進に努めることで、環境および生態系への悪影響を可能な限り低減することを目指します。原材料調達では、特に以下の課題に優先的に取り組んでいます。

- ・ 森林破壊による気候変動や生物多様性への影響および先住民族や地域コミュニティへの影響を考慮し、森林破壊が発生していないことが証明された原材料の調達
- ・ 水資源の有限性と水不足が及ぼすリスクを認識し、水資源の適切な管理が確認された原材料の調達
- ・ 生産段階での適切な化学物質の管理が確認されたリサイクル素材の活用

これは、他の環境課題を軽視するものではなく、まずは上記の課題に重点的に取り組んでいることを示すものです。良品計画グループは、環境への負の影響を防止、軽減、是正するための適切なデュー・ディリジェンス・プロセスを構築し、責任ある原材料の調達に努めています。

### 1-3 動物福祉の配慮

良品計画グループは、「良品計画グループ 動物福祉指針」を制定し、サプライチェーン全体における動物福祉の向

上を重要な責任と認識しています。そのため、動物由来の原材料については、人道的かつ倫理的で責任ある方法で生産されたものを調達することを基本指針としています。また、絶滅危惧種や保護が必要な動物種を由来とする原材料の調達を禁止しています。良品計画グループは、動物由来原材料の調達に関する基準書とガイドラインを策定し、動物福祉に関するリスクの把握や調達先の調査、取引先への指導など適切なデュー・ディリジェンス・プロセスを構築していきます。

## 2. 適用範囲

本指針は、良品計画グループの無印良品の衣服・雑貨の製品および生活雑貨の製品に使用する原材料を対象としています。本指針は、「良品計画グループ コンプライアンス行動指針」、「良品計画 生産パートナー行動規範」を補完することを意図しています。

## 3. 行動指針

### 3-1 原材料の責任ある調達

良品計画グループは、本指針に沿って、人権を尊重し、環境および動物への悪影響を最小限に抑える方法で責任ある原材料の調達を行ため、以下の取り組みを推進します。

- ・ 原材料の生産段階における人権および環境リスクの影響を特定・評価し、リスクを防止・軽減するためのデュー・ディリジェンス・プロセスを構築します。
- ・ 原材料ごとに人権、環境および動物福祉に関する方針に準拠した調達基準やガイドラインを策定し、適宜見直します。
- ・ 原材料の原産国・地域のトレース管理を行います。
- ・ 原材料の調達に関わる従業員および生産パートナーへの教育・啓発を行います。

### 3-2 ステークホルダーエンゲージメント

良品計画グループは、ステークホルダーとの対話を重視し、原材料の調達に関する共通の理解と協力を深めます。また、原材料の調達における人権課題や環境課題、動物福祉に関する従業員とお取引先さまの理解向上を図るための教育・訓練を実施し、キャパシティビルディングを推進します。さらに、生態系への影響を把握し、生産者や行政、地域のステークホルダーとともに、影響の低減と環境の保全に取り組みます。

### 3-3 適切な情報開示と透明性の確保

良品計画グループは、国際的なサステナビリティ情報開示基準に沿って原材料調達に関する取り組み等を定期的に開示し、透明性の確保に努めます。また、原材料の調達に関する表示内容や広告表現について、その正当性を証明できるよう、情報の管理を行います。

## 4. サプライヤーの責任

生産パートナーは、良品計画グループと取引関係を結ぶ前に、「良品計画 生産パートナー行動規範」の遵守誓約

書に署名することが義務付けられています。本指針は、「生産パートナー行動規範」の延長線上にあり、当社グループのバリューチェーンにおける原材料の段階を対象としています。原材料の調達に関わる全ての生産パートナーは、本指針を遵守しなければなりません。当社グループは、生産パートナーに以下を求めます。

- ・ 本指針に沿ったデュー・ディリジェンスを実施すること
- ・ 原材料ごとの調達基準やガイドラインの要件を遵守し、原材料に関するすべての関連情報を期限内に提供できるようにすること
- ・ 良品計画グループの要求事項が、商品の製造に関連するあらゆる下請け業者および協力会社に伝達されていることを確認すること